日本マーケティング学会 カンファレンス2026　ポスターセッション

ゴールは選べない。それでも、やり方は自分でつくれる。

エフェクチュエーションは、目的を選べない場面でも使えるか


子連れMBA®の活動風景

共働き子育て経験はエフェクチュエーションの疑似経験たりうるか

― 目的が動かせない状況における手段の創発 ―　11名のインタビューによる探索的研究

赤坂 美保（子連れMBA® ファウンダー）　大島 直彰（関西テレビ放送株式会社）　岡野 優子（株式会社堀）　奥野 明子（甲南大学 経営学部）
子連れMBA® 論文ゼミチーム　インタビューサポート　白石 希実・福原 真帆・角田 かおり

暫定的な答え
手段の面では、疑似経験たりうる。ただし一番上の目的を選べない点で、起業家とは異なる

1 この研究で分かったこと

RQ1　共働きの子育ての中で、葛藤と越境学習を通じて、どんな意思決定実践が形づくられるか

→ **葛藤をきっかけに、自分・まわり・環境が影響しあい、「手元」から次の一手を打つやり方が形づくられた**

RQ2　その実践は、エフェクチュエーションと何が共通し、何が違うか

→ **手段はエフェクチュエーションと重なる。違いは、一番上の目的を変えられず「手放し」が起きること**

RQ2から見えた発見　目的には高さがあった

→ **一番上の目的は変えられない。その下の目的と手段では「手放し」が起きていた**



手放した語り（例）

「仕事より子どもの方が大事っていう考え方になって」

「昇格するっていうところは自分で止めてた」

2 問いかけ　「起業家みたいに自由にはできない」のは、会社員も同じでは？

エフェクチュエーション理論のモデル



熟練起業家

目的　**自分で決める**
目的を変える　**できる**
例：スパイス屋→カレー屋

でも… →

現実は

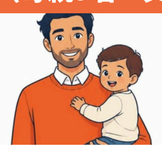


会社員の仕事・社内の新規事業

目的　**与えられたタスクを遂行**
目的を変える　**できない**
本当？下の目的は変えられそう

似ている →

★ 本研究（母親9名・父親2名）



子育て

目的　**子どもを育てる**
目的を変える　**できない**
一般的に、育児は放棄できない

こんな人も？



生活のために起業する人

目的　？
目的を変える　？

目的を自分で変えられない会社員でも、エフェクチュエーションは使える？

仮説　**鍵は「目的の高さ」と「手放せるかどうか」**

鍵1　目的の高さ
熟練起業家は一番上の目的まで手段から形づくれる。子育てでは一番上が固定され、動くのはその下。それでも手段は手元からつくられていた

鍵2　手放せるかどうか
手放し＝一番上の目的ではなく、その下にある自分のやり方・期待・思い込み（前提）を下ろすこと。手放せる人とそうでない人がいる？

まだ検証前のアイデアです（データは子育てのみ。起業家・会社員は Sarasvathy 2001, 2008 などからの仮の整理）。続きはポスターの前でお話しさせてください

1の根拠　11人のインタビューの言葉から

エフェクチュエーションとの共通点

5原則すべてと重なる

自分の内面 ⇄ 環境への適応 ⇄ まわりとの関係　3つが互いに影響しあって変わっていた

自分への問い／近い原則	インタビューの言葉
何が手元にある？ 手中の鳥	「親族にはずっと助けてもらっています」
誰と一緒にやる？ クレイジーキルト	「妻と話をして、半分ずつとか」
どこまで動かせる？ 飛行機の中のパイロット	「行きたい部署ももう名指しで…提示さしてもらって」
どこまでなら失っていい？ 許容可能な損失	「収入がちゃんと入ってこうへんやったら早めに見切りつけて」（夫の自営業への挑戦を応援するとき）
何は守る？ 許容可能な損失の裏側（何は失えないか）	「健康が何よりの一番だな」
偶然を次につなげる？ レモネード	「コロナになって…じゃあもう一年取っちゃおう」（育休を延長）

エフェクチュエーションとの違い

同時に「手放し」が起きていた

「いかに今まで多分ずーっと何かこう。握りしめてきたというか」

「完璧にいかなくても六割七割で進めちゃうとかですね」

「私が連れて行こうってする気持ちを本当に意図的に置いて」

「まあ諦めが良くなったというか」

「人に変に期待するみたいなこともせず」

目的を変えられないとき、手放すのは「自分の前提」？

方法　共働き子育て中の11名（女性9・男性2。うち1名は研究チーム）、半構造化インタビュー→KJ法。回顧的な自己報告。



ご意見をお聞かせください
お気軽にお声がけください

しがらみや制約の中で、ふっと突破口が開けたこと、ありませんか？

「何かを手放したら動けた！」そんな実例があったらぜひ教えてください

次の研究のヒントにさせていただけたらうれしいです